

I 農業集落の現状

1 農業集落数の推移

農業集落数はわずかに減少

- ・ 北海道の農業集落数（令和2年2月1日現在）は7,066集落で、10年前に比べて69集落（1.0%）、5年前に比べて15集落（0.2%）減少しました。（図3）
- ・ 北海道の農業集落数を農業地域類型別にみると、中間農業地域は増加しましたが、都市的地域、平地農業地域、山間農業地域は減少しました。（図4）

図3 農業集落数の推移

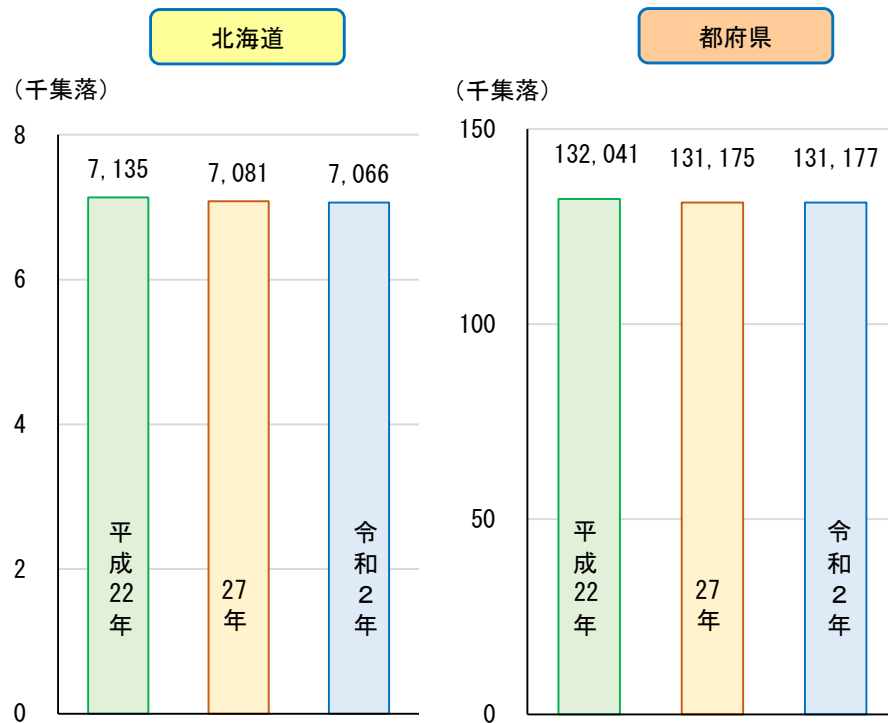
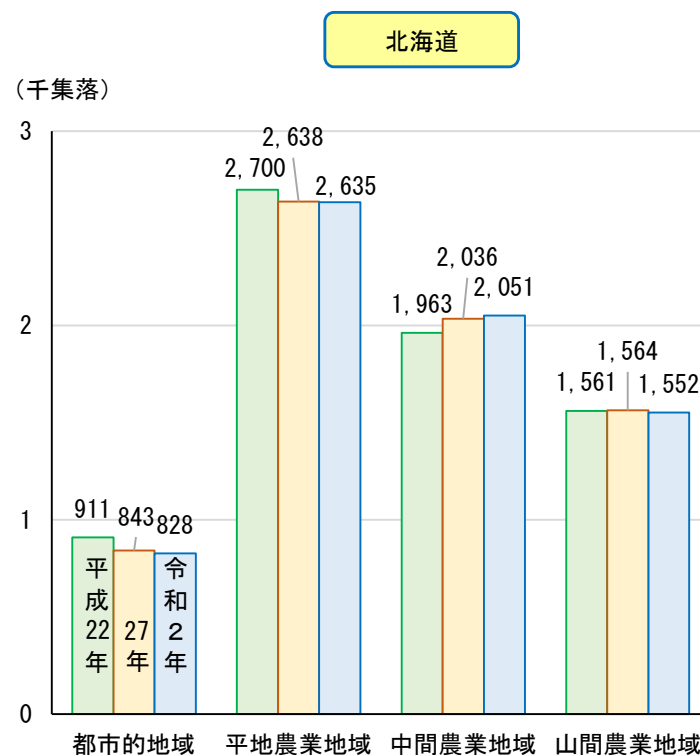


図4 農業地域類型別農業集落数の推移



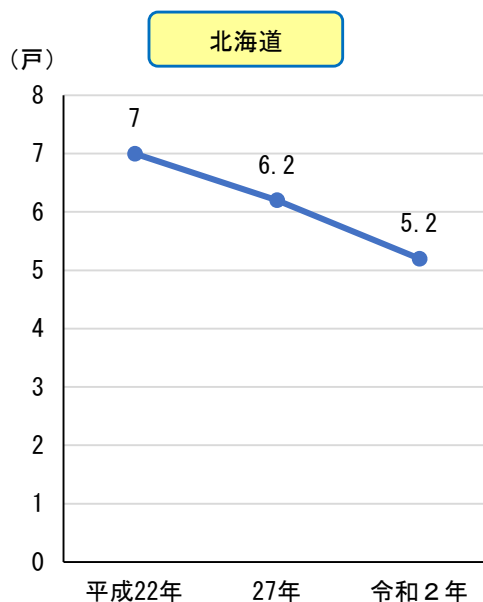
I 農業集落の現状（つづき）

2 農家数規模別にみる農業集落数

1 農業集落当たりの農家戸数が減少

- ・ 北海道の1農業集落当たり農家戸数は5.2戸で、10年前に比べて1.8戸（25.7%）減少しました。（図5）
- ・ 北海道の農業集落数を農家数規模別にみると、5戸以下が64%を占め、10年前に比べて13ポイント上昇しました。また、5戸以下の割合は都府県の2倍となりました。（図6）

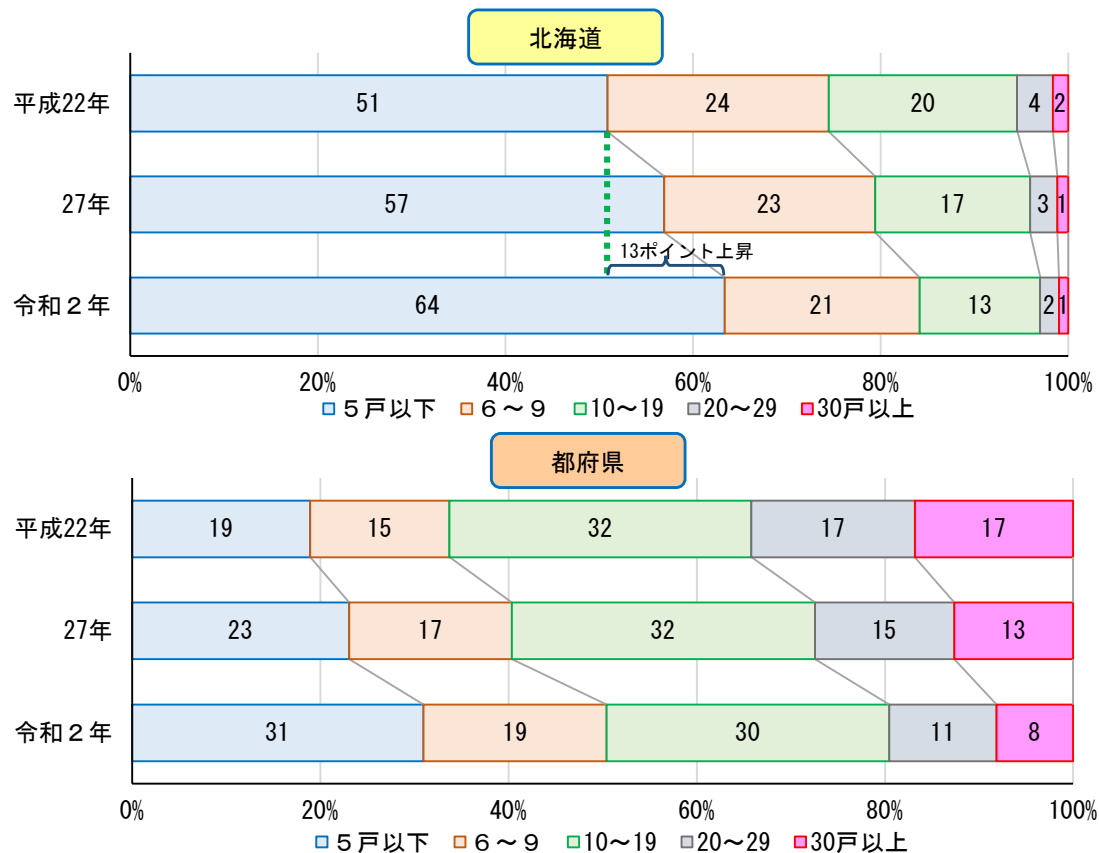
図5 1農業集落当たりの農家戸数の推移



※平成22年は、整数値です

全域が市街化区域である農業集落は集落数及び当該農家戸数から除外しています

図6 農家数規模別農業集落数の割合



注：数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります（以下の各図において同じ。）。

I 農業集落の現状（つづき）

3 耕地面積規模別にみる農業集落数

耕地面積が50ha以上の農業集落数は69%

- ・ 北海道の農業集落数を耕地面積規模別にみると、50ha以上が69%で、10年前と同じとなりました。また、都府県は、50ha以上が13%となりました。（図7）
- ・ 北海道の農業集落数を耕地率別にみると、10%未満が最も多くなりましたが、50～70%及び70%以上の農業集落数の割合が都府県に比べて多くなりました。（図8）

図7 耕地面積規模別農業集落数の割合

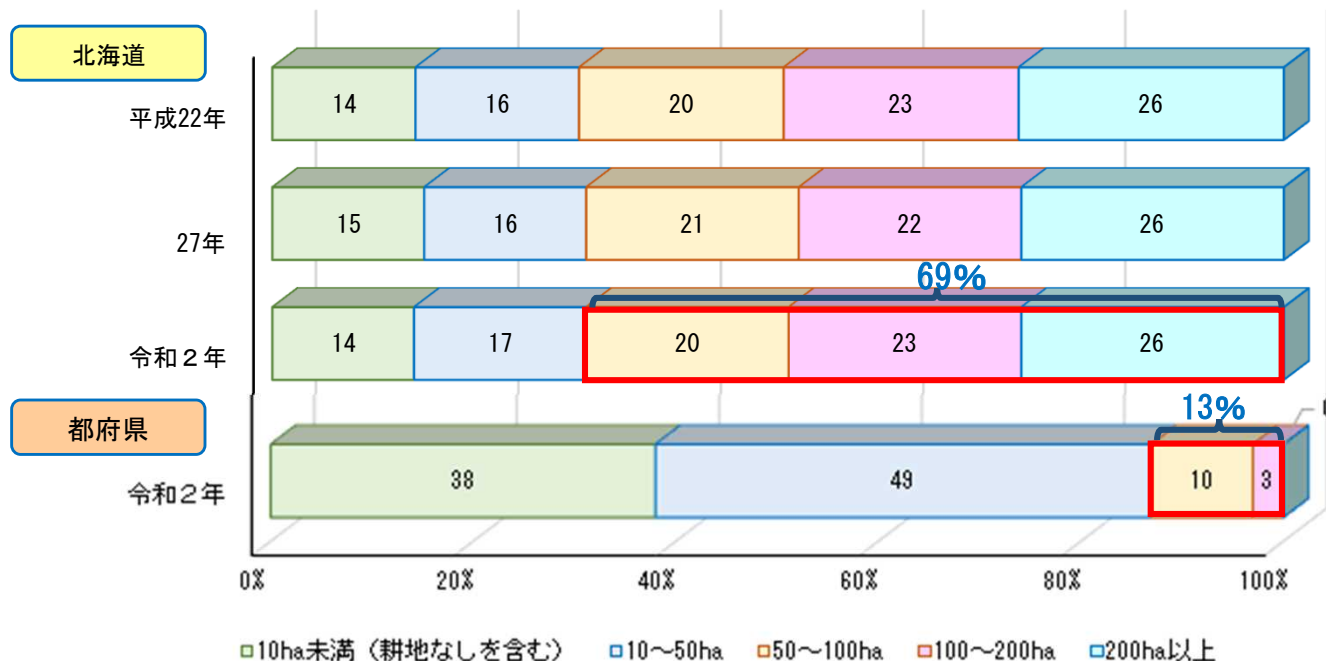
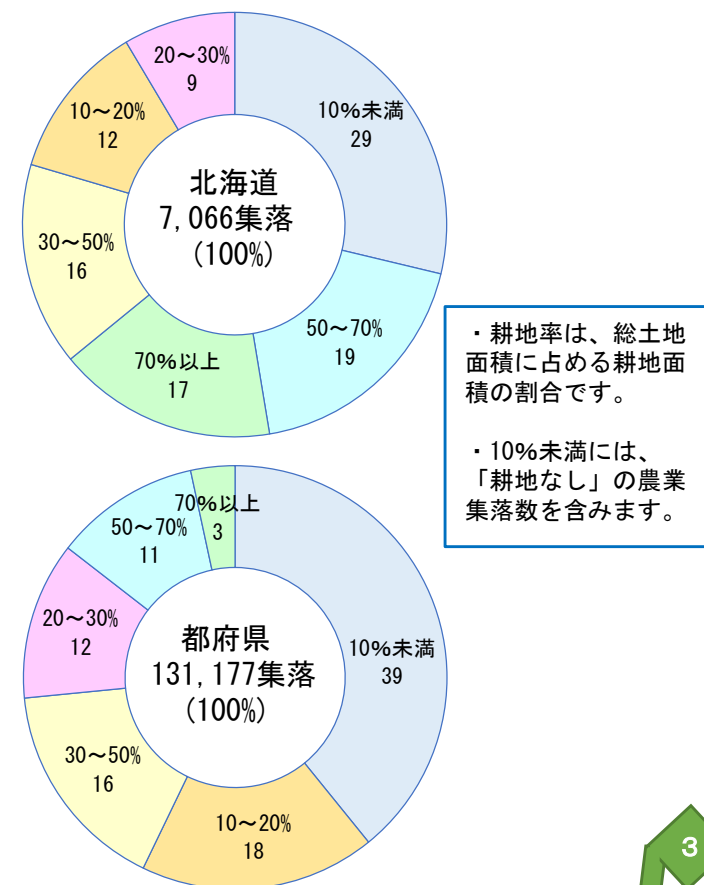


図8 耕地率別農業集落数の割合（令和2年）



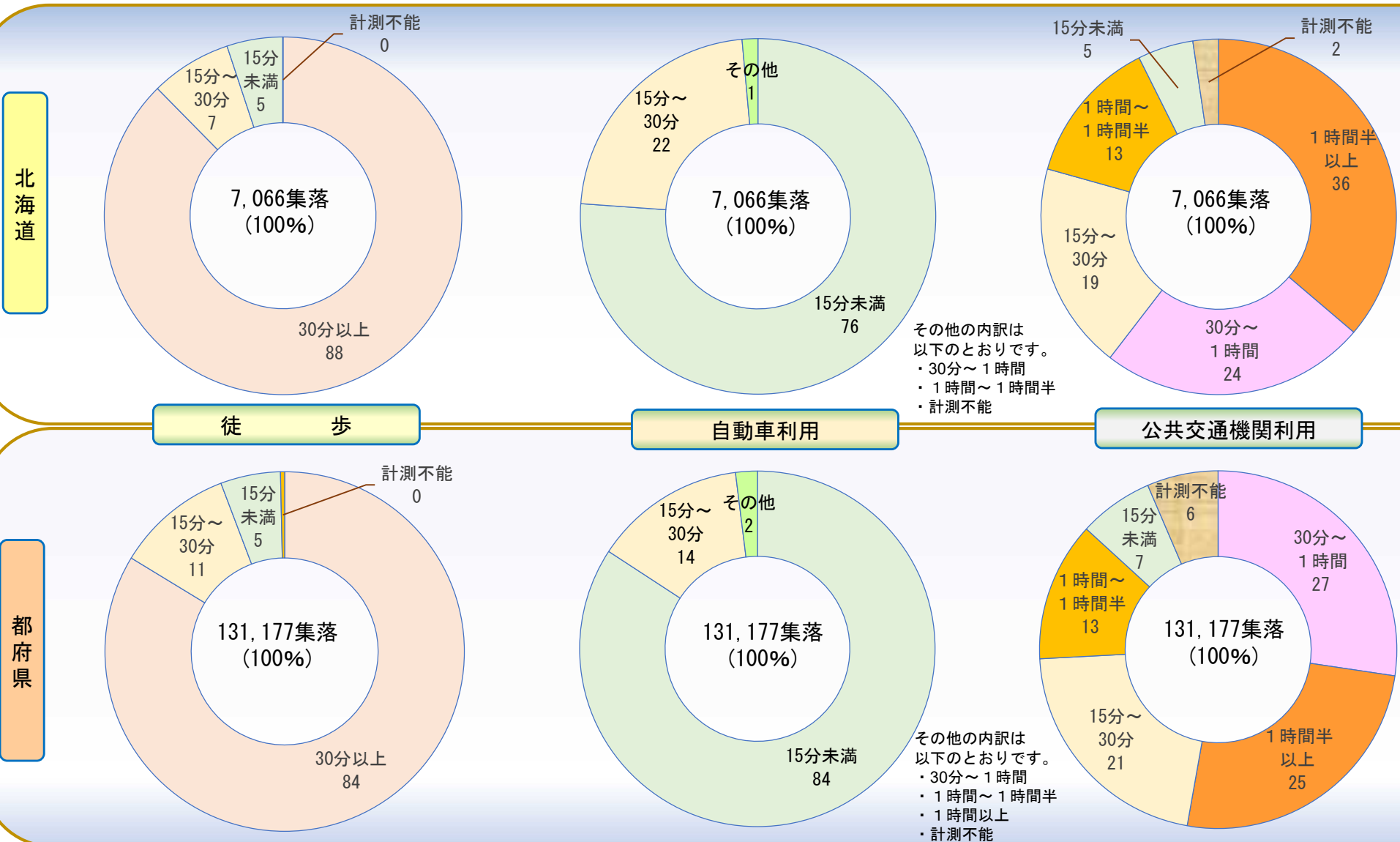
I 農業集落の現状（つづき）

4 生活関連施設までの所要時間別農業集落数

公共交通機関利用の所要時間は1時間半以上が多い

（1）市区町村役場

図9 市区町村役場までの所要時間別農業集落数の割合（令和2年）

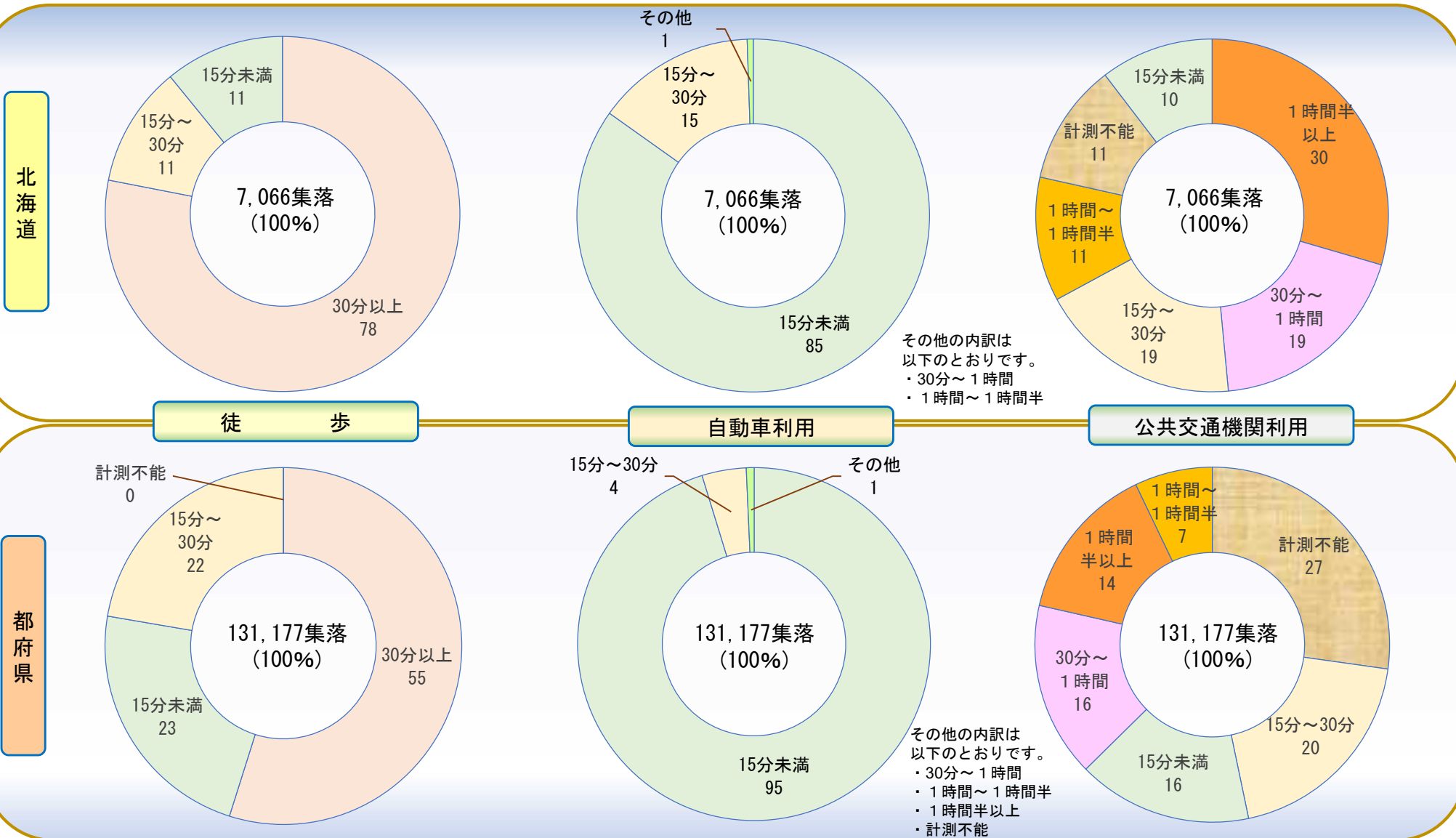


I 農業集落の現状（つづき）

4 生活関連施設までの所要時間別農業集落数（つづき）

（２）病院・診療所

図10 病院・診療所までの所要時間別農業集落数の割合（令和２年）

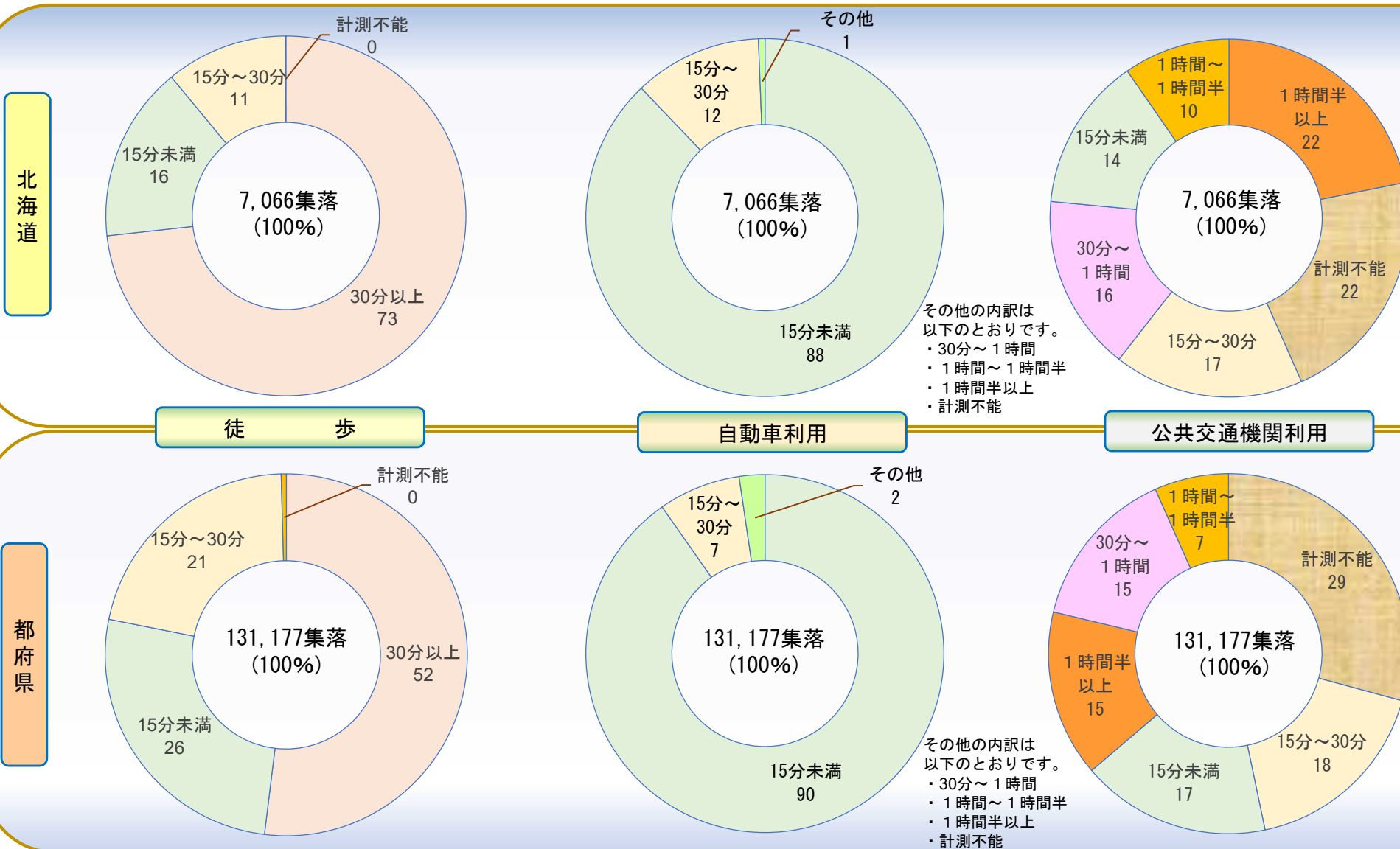


I 農業集落の現状（つづき）

4 生活関連施設までの所要時間別農業集落数（つづき）

（3）スーパー・マーケット・コンビニエンスストア

図11 スーパー・コンビニまでの所要時間別農業集落数の割合（令和2年）



I 農業集落の現状（つづき）

5 農業集落の寄り合い

年間12回未満が69%を占める

- ・北海道の農業集落数を寄り合いの回数規模別にみると、3～5回が最も多く、次いで6～11回、12～23回の順となりました。また、寄り合いがない集落が913集落となりました。（図12）
- ・北海道の農業集落数を寄り合いの議題別にみると、「農業集落行事の実施」が最も多くなりました。（図13）

図12 寄り合いの回数規模別農業集落数（令和2年）

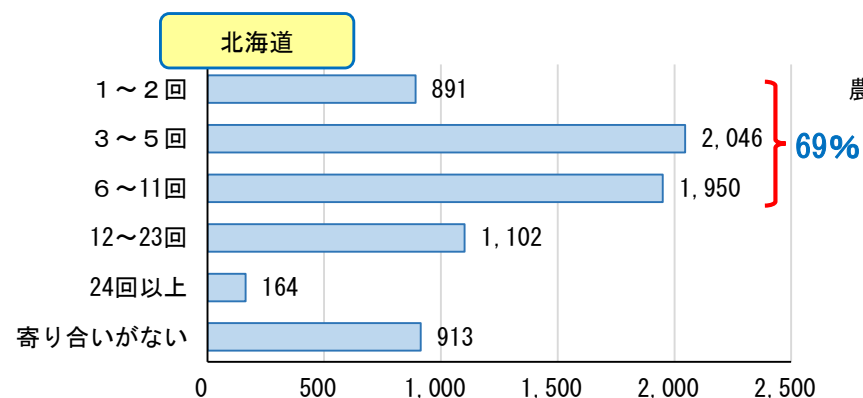
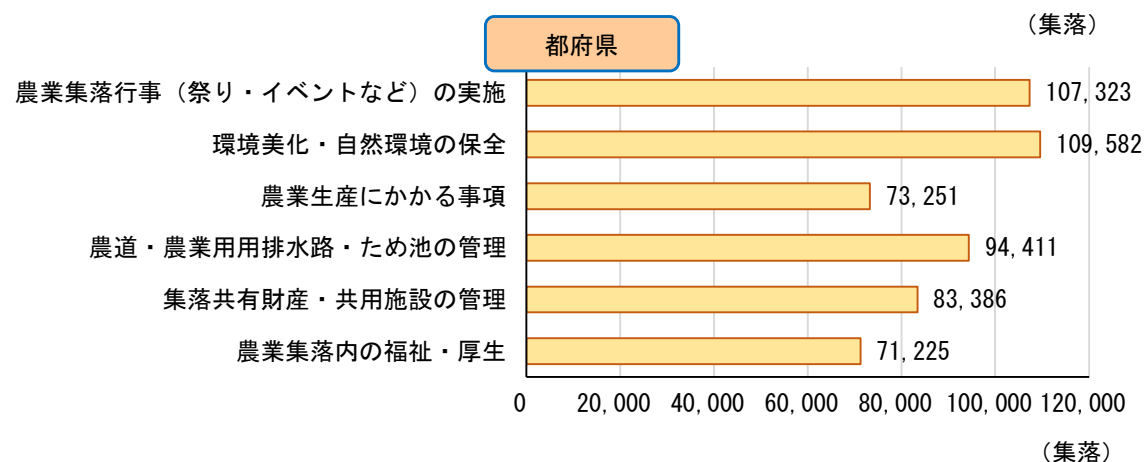
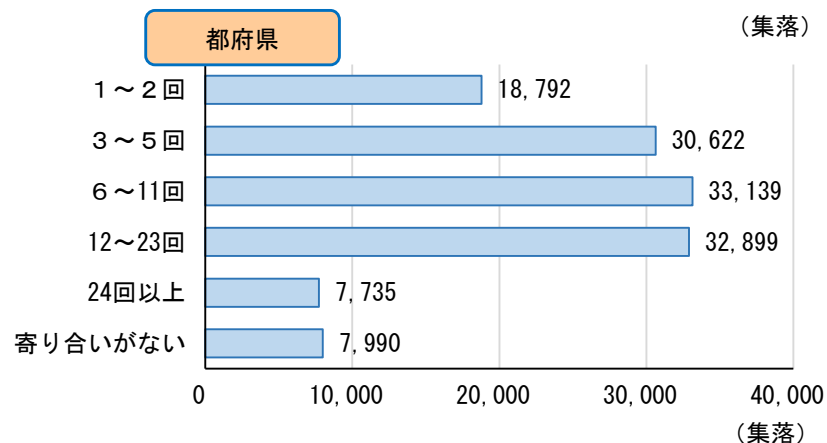
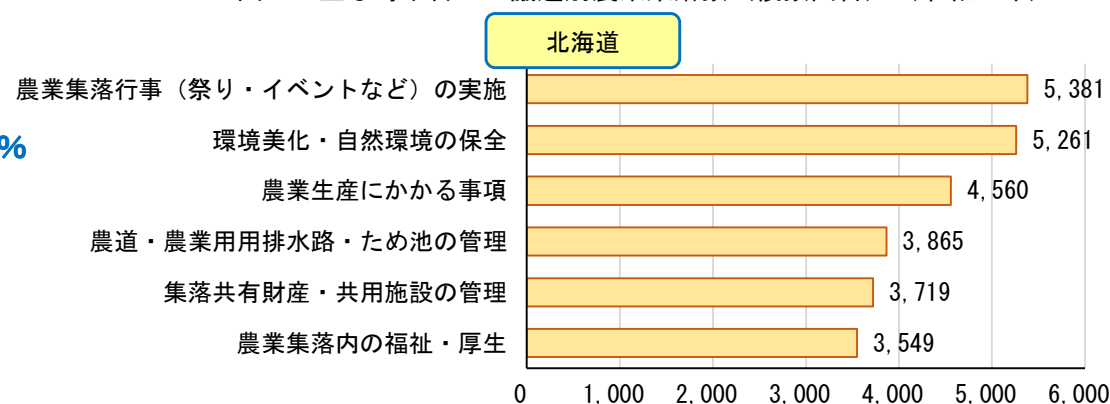


図13 主な寄り合いの議題別農業集落数（複数回答）（令和2年）



I 農業集落の現状（つづき）

6 地域資源の保全 農地と農業用排水路を保全している割合が50%を超える

・北海道の農業集落数を地域資源の保全の有無別にみると、農地と農業用排水路を保全している割合が50%以上を占めました。また、都府県に比べて河川・水路を保全している割合が低く、農業用排水路なしの割合が多くなりました。（図14）

図14 地域資源の保全の有無別農業集落数の割合（令和2年）

